

長野市法定外公共物占用許可申請書チェックリスト

年 月 日

項目	内 容	確 認	局 欄
表 紙	新規・変更を選択して○印。		
	法定外公共物の種類を選択する。		
	普通河川の場合、河川名を記入。		
	占用場所はその場所の地番を記入。地番がない場合は、最寄りの地番を記入する。2箇所以上の地番にわたる場合は起点と終点を記入する。		
	行為の内容の欄に工作物の名称、数量及び施工方法を記入。鞘管も記入する。		
	行為の面積を記入。		
	行為の期間を記入。		
	備考欄に競合する工事、規制等必要事項を記入する。		
	添付されている書類に○印はあるか。その他必要に応じて添付した書類を記入する。		
添 付 書 類	普通河川分類表（普通河川の場合）		
	位置図（1/2500又は住宅地図等）に占用箇所を赤色で記入する(申請者宅ではない)。		
	実測平面図（1/100程度）		
	横断図・縦断図（1/10～1/50程度）		
	行為実施方法記載書面（推進等の実施方法を必要に応じて）		
	上記図面に官民界を赤色で明示し、申請物件を赤色で着色する。又、道路幅員、水路幅・深さ及び構造物寸法、配水本管位置（破線で記入）・分岐管や鞘管の管種・埋設深さが表示されているか。		
	認定外道路は舗装の仮復旧及び本復旧断面図を記入。		
	占用面積計算書を記入又は添付しているか。		
	公図の写しに申請箇所が赤色で記入されているか。		
	写真は複数箇所より撮影し、配水本管を破線で、申請箇所を赤の実線で記入する。		
	必要に応じて同意書（水路の場合は水利権者、認定外道路の場合は区長）。		
縦断的に占用する場合で、境界立会が行われたが不成立の場合は関係者同意書。			
その他必要な書類が添付されているか。			
推進工法の場合	側溝等の構造物の下を推進工法で施工する場合、施工図及び施工方法を記入する。抉り掘りになっていないか。		
開削工法の場合	開削工法で施工して復旧する構造物がある場合、その構造図及び施工方法を記入する。		
そ の 他	法定外公共物に縦断的に管を埋設する場合、境界立会の成立が原則である。立会が行われていないときは、境界立会申請請から行う。以前に不成立となっている場合は、最立会若しくは関係者同意書を添付する。		

施工事業者名

担当者

電話番号